

# 令和3年度 第1回 木曾川水系流域委員会 議事要旨

日 時：令和3年6月25日（金）10：00～12：00

場 所：AP名古屋 8階 B+C+D ルーム

木曾川上流河川事務所

木曾川下流河川事務所

（WEB会議併用）

## 1. 開会

## 2. 挨拶（中部地方整備局木曾川上流河川事務所長）

## 3. 挨拶（辻本委員長）

## 4. 議題

### （1）木曾川水系流域委員会規約の変更

- ・ 第6条第1項及び委員名簿の変更について承認。

### （2）木曾川水系河川整備計画の点検

「木曾川水系河川整備計画の点検」について、報告した。

主な意見は以下のとおり。

- ・ 事業進捗について、一定期間の節目で進捗を示しているが、各年度の進捗も示し比較ができるようにすべき。
- ・ 事業の実施状況について、区分を堤防整備・高潮堤整備・堤防強化と示されているが、各対策の内容の違いを分かりやすく説明する工夫をすべき。

→ 今後、資料の表現について工夫してまいりたい。

- ・ 長良川遊水地について、地元住民から不安の声を聞いている。今後も地元住民と十分に対話を行い、合意を得ながら進めてもらうとともに、流域委員会への報告をお願いしたい。また、委員会へ報告されることにより、専門的な部分について、各分野の委員からの助言が期待できる。

→ これまでに引き続き、丁寧な説明が必要であると認識しており、委員各位から助言も受け、適切に対応して参りたい。

- ・ サイクル型維持管理については、これまでに取り組んできた事例があると良い。

### （3）木曾川水系連絡導水路事業評価

「令和4年度以降も新たな段階に入らずに環境調査を継続しつつ、引き続きダム事業の検証に係る検討を進めるものとする。」について、了承された。

主な意見は以下の通り。

- ・ 導水路の必要性を議論するのであれば、平成 6 年渇水時のシジミへの影響のようなデータを積み重ねていくべきではないか。
- ・ 渇水状況が起きたときに正常流量がない場合の影響の把握は大きな課題ではないか。
  - シジミの生息状況等は現在も調査を実施し、被害状況について関係者の意見も頂いている。引き続き調査を実施して参りたい。
- ・ ダム検証における対応方針案はいつ頃出そうか。
  - ダム検証は進めているが、構成員から中部地方水供給リスク管理検討会で得られる知見をしっかりと見定めていく必要があるという意見を頂いている。中部地方水供給リスク管理検討会の状況については、流域委員会へも逐次報告して参りたい。
- ・ 国の指針では便益を代替法で算定してよいとされているが、お金の換算できなくても、環境の変化の定性的なものは評価すべきである。
- ・ 事業評価とは別に、カウントしにくいベネフィットの議論は流域委員会でも取り上げていただきたい。
- ・ 「木曾川の年降水量の経年変化」について、木曾川水系は源流域から海岸域まで環境が非常に異なった様々な地域にわたっており、観測所によって傾向が違うため、単純平均では木曾川の特徴を表せないのではないか。データの中身を精査して複数のクラスターがあればその状況を示すべきである。
- ・ 流域治水の考え方のもと、ダムについては事前放流のウエイトが高くなるだろうが、その空振りによる影響を代替する手段として準備していくような観点も今後盛り込まれるべきである。

## 5. 報告

主な意見は以下の通り

### (1) 令和 2 年 7 月豪雨による出水状況

- ・ 木曾川水系に数多く存在する小規模な陸閘等について、出水時にそれを操作する水防団等は高齢化等の状況にあり、陸閘の開閉自動化や遠隔操作に DX 技術が活用できると良い。
- ・ 様々な活動により被害を未然に防いでいることが一般に浸透していないと思われるため、広報や打ち出し方を工夫すべき。

### (2) 木曾川水系流域治水プロジェクトについて

主な意見は以下のとおり。

- ・ 資料にある降雨量に関する全国的な傾向について、木曾川流域にもあてはまるのか。また、洪水発生頻度が 2 倍とあるが、頻度だけではなく、土地利用の変化に伴い、以前被害がなかった地域でも大きな被害になるなど被害状況も変わってきているため注意が必要。
- ・ 引き続き、各自治体におけるまちづくり等の部署にも参加いただき連携されたい。

(3) 中部地方水供給リスク管理検討会のご報告

主な意見は以下のとおり。

- ・ 渇水時に、工業用水、飲料用水、農業用水の間の水のやりとりを行う場合、関係機関間の交渉をどのように行うのか、予防的観点という視点で考える必要がある。
- ・ 事前放流後、貯水量の回復が出来なかった場合、水の補填という方法もあるため、水利調整協議会等の場でどういった水の補填策があるのかを平常時から議論しておくべき。

5. 閉会

以 上